



なぎちょう 奈義町 議会だより

9月議会



奈義の美しい滝シリーズ 追込みの滝（一の滝）

（登山道Bコース徒歩30分）

140号

平成28年11月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会

〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 9月議会で決まったこと 2 ~ 3 ページ
- 決算特別委員会 4 ページ
- 一般質問（8名） 5 ~ 12 ページ
- 委員会報告 13 ページ
- 組合議会・政務活動費 14 ページ
- 奈義町を視察 15 ページ
- 視察研修・編集後記 16 ページ

の報告を承認

9月定例議会は、9月8日から21日まで、14日間行われ、**補正予算7件、決算12件、報告2件、請願・陳情2件、意見書2件、その他1件、計26件を審議、決定。**8名の議員が一般質問を行いました。

『補正予算』

2億6510万円などです。

**繰越金、
1億3175万円を追加**
○一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出に、それぞれ、4億700万円を増額するものです。

▼主な歳入は、地方交付税が1億4231万円、繰越金、1億3175万円などです。

▼主な歳出は、東山工業団地に進出した企業の土地代を補助する企業立地奨励金が、8950万円、菩提寺周辺の道路修繕料、200万円、海洋センターの壁修繕、バリアフリー化の費用、2950万円、予備費に充当が、

西原ダムの管理負担金を一般会計で賄う予算

現在、使用中止となっている”どんがりワールド”（BG公園内）の修繕のあり方について等の質問がありました。

○一般会計補正予算（第3号）

組みかえによるもので、総額に変更はありません。

事業費委託料2100万円を工事請負費に組み替えました。また、

○介護保険特別会計補正予算

歳入、歳出に、それぞれ、4990万円を追加しました。

▼歳入は、平成27年度決算に伴う、国からの決算に伴う、国からの療養給付費交付金が554万円、繰越金が4299万円などです。

▼歳出は、多くを、予備費に充当しました。その額は、4839万円です。

決算に伴い繰越金を補正
○国民健康保険特別会計補正予算

決算委員会で、工業用水道会計への一般会計からの繰り入れが多すぎるのでないか、との指摘を受け、本来一般会計で払うべき勝英土地改良区への管理負担金480万円を、減額補正しました。（以上、全員一致）

480万円を減額
○工業用水道企業会計補正予算

平成27年度決算を受け、歳入、歳出にそれぞれ1076万円を追加するものです。
○後期高齢者医療特別会計補正予算
議員からは、これまでの説明では、旧玉狩跡地の取り壊しは、「ナギカラ」への委託料で行う、となっていましたが、今回、町が直接実施する、となっていました。どの質問がありました。

決算特別委員会報告

9月12、13日に決算特別委員会を開催し、主に次のような質問がありました。

一般会計

- ▼町営住宅と町営賃貸住宅の違いは、
- ▼地域振興センターは、誰が利用し、使用料は、誰が利用して、使用料は、誰が利用するか、
- ▼分譲墓地の残り区画は、
- ▼県消防防災ヘリの使用は
- ▼27年度のカレンダーには、美術館の写真が多くたと思うが、
- ▼保育園の臨時職員の待遇の改善を、
- ▼耕作放棄地の面積は、
- ▼菜の花祭りの面積の拡大は、
- ▼次に、**特別会計・企業会計**での主な質問は、
- ▼医療費が増大傾向にあり予防活動に力を入れては、なぎみ苑の入所待機の状況は、
- ▼保健師の採用の予定は、工業用水道会計に一定額の一般財政が入っている

が、

▼東部衛生施設組合の訴訟の状況は、等です。

以上、一般会計、特別会計8件、上水道会計、東部

衛生施設組合会計は全員一致で、工業用水会計は賛成多数（反対1）で認定しました。



黒枝豆“えだまるくん”発進！東京市場を目指して！(選粒機)

平成27年度の主な事業

●まち・ひと・しごと事業	5,600万円
●塵芥し尿処理事業	1億4,500万円
●有害鳥獣駆除事業	2,200万円
●観光事業	4,200万円
●農地中間管理事業	4,000万円
●黒大豆枝豆光選別設備導入事業	1,900万円
●子育て支援事業（町単独）	8,700万円

地方創生をめざして 一般質問に8名が登壇



岡部 英生 議員

Q 人口6000人維持への挑戦は

A スピード感を持って、
着実に事業を実施

豊岡市との連携協定が、これから奈義町のまちづくりにプラスになると学ぶこと、地方創生事業の実施に向けての町長の考えは。「人口6000人維持への施策」、豊岡市から学ぶこと、地方創生事業の実施に向けての町長の考えは。

答弁 町長 豊岡市のスローガンは「小さな世界都市」。東京基準では考えない政策を実践している自治体である。本町からは、那岐山麓の花菜、現代美術館をベースにしたアートの取り組みを発信し、豊岡市からは幼小中一貫教育やふるさと教育などが学べる。

地方創生事業として二つの事業、「生涯『総』のまちづくり事業」と、「小商いクラスター構築事業」の地域再生計画を国に申請し認定された。今後5年間は、まちづくりに必要な全ての分野の施策が可能であり、スピード感を持って、かつ着実に事業を開拓する。そして人口6000人を維持し、町の活力と産業振興を図る。

質問 豊岡市との連携協定が、これから奈義町のまちづくりにプラスになると学ぶこと、地方創生事業の実施に向けての町長の考えは。「人口6000人維持への施策」、豊岡市から学ぶこと、地方創生事業の実施に向けての町長の考えは。

答弁 町長 豊岡市のスローガンは「小さな世界都市」。東京基準では考えない政策を実践している自治体である。本町からは、那岐山麓の花菜、現代美術館をベースにしたアートの取り組みを発信し、豊岡市からは幼小中一貫教育やふるさと教育などが学べる。

質問 地区境の看板が汚れたり樹木が覆いかぶさって見えない箇所がある。地方創生事業で斬新な看板にしてはどうか。

答弁 町長 町の花であるウメの花のイラストが入った看板を設置している。設置から20年以上経過しており、総点検を実施し本町のイメージアップにつながる

質問 町内の看板を斬新に
の看板検討

A イメージアップ

質問 新しい町民踊り「なぎチヨイヤッサー」に合った衣装を作製し、盛り上げてはどうか。

答弁 町長 新たに制作した「なぎチヨイヤッサー」の統一衣装の作製について踊り手の方とも協議し検討したい。

質問 奈義中学校校舎の耐震改修状況が県内最低の75%の達成率であり、万が一地震等が発生した場合は大変な事態になるが対策は。地盤等が発生した場合は大変な事態になるが対策は。

答弁 教育長 中学校の校舎は昭和41年から43年に建設された。建設後約50年になり経年劣化によるコンクリートのひび割れ、剥離等が懸念される。診断の結果からも補強での改修か、新築かの早急な対応を行う必要があると考えている。



改築がのぞまれる中学校

よう看板のデザイン等についても検討し実施したい。

Q 奈義町を世界に発信しては



中井 泰洋 議員

A 検討する



建替え移転が望まれる保育園

質問 中学校は築50年が経過し、また、耐震補強も必要になっている。保育園は積的に限界がきている。

Q 中学校・保育園の建替えの決断を今後議論を深め検討する

質問 先日、豊岡市長の講演会が開かれて、豊岡市を『世界の豊岡市』として発信しているとの話があつたが、共感・納得するところが沢山あつた。

今回の地方創生で、新しい奈義町に向けて発進したが、50年後、100年後を

最終目標に見据え、日本で最初の『日本の田舎の聖地』宣言をしてはどうか。

また、奈義町現代美術館も、『世界のNagi MOCA』Nagi Museum Of contemporary Artとして発信してはどうか。

答弁 町長 提案の『日本の田舎の聖地』宣言『世界のNagi MOCA』宣言等の発信手法は、これから町政の方向性を内外に強く発信する上でも有利で、町民意識を喚起する上でも効果的であると考える。

なぎタウンプライドの作成段階であるので、これら、十分に検討する。

※なぎタウンプライドとはまちの50年・100年先を見据えて町民と町がめざすまちの姿・まちづくりの理念・哲学のこと。例えば、町民が町を愛する理由や、他所に向かって自慢したくなるような「町の誇り」を、子どもや孫の代まで伝えるため明文化したもの。今後ぶれることなく、様々な施策を企画・立案・実行していくうえで、常に原点に立ち帰る重要な指針となります。

また、建物も付け足し付け足しで効率が悪くなってしまっているように思うが、方創生、災害に関連する有利な補助金等を活用し、早急に中学校・保育園の建替えを決断したらどうか。



鷹取 渡 議員

Q 地産外商事業の体制は

A ビジネスマodelを構築していく

段階的に流通量を増やして行きたい。安心安全な野菜を生産するため、補助金や指導に力を入れていく。

奈義町で生産される米や野菜が、全国に販売されることには、農家の皆さんには朗報である。

この地産外商という事業は、どのような体制で行われるのか。米には余裕があると思うが野菜については、種類、量、時期など注文に応えられるのか。

答弁 町長 町内産農産物の新たな販路として、都市部の飲食店に直接配送するシステムで、主に朝市の会員と、新しく採用した地域おこし協力隊2名と、地産外商のノウハウをもった、“クックビズ”という会社で運営していく。事前に生産者から提供可能な野菜や量を把握してネット上に掲載し、注文を受け発送する。



地産外商

質問 4月に行われた岡山県学力テストで、県の平均

Q 中学1年の学力が心配
A 子どもたちのやる気を引き出す

より2・9ポイント下回っていたが、何か問題があつたのか。また指導についてどのように考えているか。



グループワークで意欲倍増

質問 奈義町で生産される米や野菜が、全国に販売されることは、農家の皆さんには朗報である。

く元気で物事の取り組みも活動的・意欲的で、能力も高いものを持っている。

学びの集団を育てるには人の関わりが大切なポイントである。先生や子ども達同士の関係づくりをして学習を進めるに、信頼関係が築かれ、自分が成長したい、学びたい、とのやる気が起きてくる。先生方に努力と工夫を期待している。

他にも18才、19才の人達の参議院選挙の投票について質問した。

短いスパンで判断される。中1の子どもたちは、明るい学力テス

答弁 教育長 教育の成績は簡単には図りがたいものだが、学力テス

Q 米の生産目標配分中止の対策は



岡 親佐 議員

A 地域の特色ある農業生産を

質問
28年度より農地集約の条件が見直されているが、奈義町での出し手と受け手はマッチングしているか。

答弁 町長 地域集積協力金を含め、全ての交付単価が減額となる。奈義町においては、人・農地プランが全地区で策定されており、このプランに沿って、マッチングがスムーズに行われ

Q 農地集約は、出し手、受け手と、マッチングしているか
A スムーズに行われている

質問
平成30年度から行政による米の生産数量目標の配分が廃止される減反が、町としてどのような対応ができるか。

答弁 町長 水田フル活用

ビジョンに位置付けることで戦略的に独自の作物振興が図れ、地域の特色ある農業生産が行えると考えている。



水田フル活用 飼料用稻「WCS」の収穫



質問
協力隊員はそれぞれ観光振興、地域振興、地産外商など、求められる役割は異なるが、本町の発展に寄与していただけるものと期待している。協力隊員は、本町での活動が将来の起業につながり、任期終了後も定住していくだけることを期待している。

答弁 町長 協力隊員や専

門員は、町として協力隊員にどのように携わってほしいか。

Q 協力隊員に期待するものは奈義町での活動が将来の起業に



桑村 由和 議員

Q ※ ICTの活用について

A 効果の高い活用方法を検討していく

質問 行政においてタブレットなどを導入し、医療や教育など、様々な分野でICTの活用が必要と思うがどのように考えているか。

答弁 桑村 由和 議員
町長 セキュリティ 対策の考慮をしながら、業務効率の改善が可能なICTの活用は積極的に実施したい。庁舎外でも無線LAN設備などの設置を検討したい。

質問 ホームページの活用が不十分に感じるが、対策を考えているのか。

答弁 町長 リアルタイムに町民の方々だけでなく世界に向けて本町の情報を伝える重要な手段と考えております、将来的には専属職員の配置や外部委託を含めて、効果の高い情報発信の方を検討する。

質問 今後、大学入試などの改革が予定され、義務教育においてもICTの活用が重要になるが、どのような対策を取っているのか。

答弁 教育長 小中学校においてパソコン教室を設置し資料の作成、キーボード

質問 ホームページの活用が不十分に感じるが、対策を考えているのか。

答弁 町長 リアルタイムに町民の方々だけでなく世界に向けて本町の情報を伝える重要な手段と考えております、将来的には専属職員の配置や外部委託を含めて、効果の高い情報発信の方を検討する。

質問 移住、定住対策について

答弁 町長 地方創生事業のグランドデザインの中で、豊沢住宅跡地や空き家の活用を含めて早急に検討したい。

質問 分譲団地の高齢化対策はどうのように考えているのか。

答弁 教育長 小中学校においてパソコン教室を設置し資料の作成、キーボード

質問 ホームページの活用が不十分に感じるが、対策を考えているのか。

答弁 町長 リアルタイムに町民の方々だけでなく世界に向けて本町の情報を伝える重要な手段と考えております、将来的には専属職員の配置や外部委託を含めて、効果の高い情報発信の方を検討する。

質問 町営の賃貸住宅や分譲地が残り少ないが対策を考えているのか。

答弁 町長 地方創生事業のグランドデザインの中で、豊沢住宅跡地や空き家の活用を含めて早急に検討したい。

質問 菜の花米のブランド化には、流通量が少ないと思うが対策は考えているのか。

答弁 産業振興課長 明確化には、流通量が少ないとと思うが対策は考えているのか。

質問 多くのイベントが開催されているが、農畜産物の販売などに相乗効果は出ているのか。

答弁 町長 自然や芸術とともにおいしいお米や、なぎビーフ、おかやま黒豚のPRに努め、販路開拓を行つていただきたい。

質問 ICTとは：情報・通信に関する技術の総称。

質問 多くのイベントが開催されているが、農畜産物の販売などに相乗効果は出ているのか。

答弁 町長 自然や芸術とともにおいしいお米や、なぎビーフ、おかやま黒豚のPRに努め、販路開拓を行つていただきたい。

質問 ICTとは：情報・通信に関する技術の総称。



奈義町にも欲しいレンタル電気自動車

Q 地方創生推進交付金事業について



芦田一郎議員

A 町民の皆さんと協働で進める

質問 地方創生推進交付金事業については、奈義町は全国的に、スタート、金額、ともにトップである。特殊出生率2・81に次ぐ、金メダル連続獲得かと思う。内容的に多くの委託事業がある。町執行部の各トップグループには理解ができるいるとと思うが、町民から見ると、異次元的な発想レベルで“走って”いるように見える。エネルギー補給過剩となり、空中分解となるないように、町民レベルで理解できるように期待している。

答弁 町長

生き残りをかけた、まちづくりそのものであり、それぞれの課題解決に向けて、町民だけでなく、民間の企業や専門家などの意見や協力を求めることがある。これまでにない発想と斬新なアイデアなどがまさに地方創生には求められており、新たに生き残りをかけた挑戦が必要となる。

このように、町民と一緒に取り組むことで、より良い未来を実現することができる。また、町民の意見を反映した政策を実現するため、定期的な意見交換会を開催するなどして、町民の声をしっかりと反映させています。



平田オリザ先生によるワークショップ（奈義小学校6年生）

質問 奈義町では、多目的トイレは整備されているが、乳幼児向けのおしめ、着替え設備がない。なぎビカリアミュージアムでは、第1子が6歳だとか小学生が入館すると第2子、第3子はおしめ、着替えが必要となる。町内全施設の点検と見直しの考えは。

答弁 町長

おむつが交換できる公共トイレは、役場庁舎と山の駅にある。ベビーシート等の設置は、これらの中でも、町民や観光の来客者へのサービス向上のため必要なものと考えている。本町のグランドデザインを構築する中で、十分に検討している。今後はビカリアミュージアムを含め、町内の全公共施設の点検、精査をさせて行き、順次設置をしていきたい。

Q 乳幼児向けのおしめ、着替え設備を順次設置をする



安藤 榮一 議員

Q 地方創生の施策は

A 人口6000人を維持し活力と経済を保つ

質問

地方創生のための施策の推進について、その課題と歩むべき方向性について伺う。

答弁 町長

人口減少が最も重要な課題である。生涯“総”活躍のまちCCRCと、観光DMOがマーケティングとセールスを担う小商いクラスター事業を開拓し、人口6000人を維持し、50年先も人と経済が元気な町をめざしていきたい。

Q 準用河川の管理を積極的に取り組む

質問

準用河川・馬場川（中島西地内）に繁茂する

雑草類の整理を行い、防災対策上、河川の流水断面を保持する必要があると思うが、考えは。

答弁 町長

町民の安全・安心を確保するため、今後も河川の維持管理は関係地区の協力とともに積極的に取り組んでいきたい。

Q スマホ・携帯の適切利用は取り組みを推進していく

質問

スマートフォン・携帯電話の適切な使い方を考える「OKAYAMAスマホサミット2016」について尋ねる。

答弁 教育長

県内の中学25校、51名が参加。奈義中学校は、生徒会3名が参加し、5回行なわれた。その

Q 次期学習指導要領案の対応は研究推進体制づくりが大きなポイント

質問

文部科学省は、学習の量を減らさず質を改善することをめざしている。子どもが主体的・能動的

取り組みには大きな成果がある。2016は“スマホ元年”として位置づけて取り組みを推進していきたい。

答弁 教育長

アクティブラーニングについては、人事、人員配置等、研究推進体制づくりとその継続が大きなポイントである。一步一歩、丁寧に確実に取り組みを積み上げていく必要がある。

※準用河川とは：河川法第100条に基づく市町村



雑草が生い茂る馬場川（金剛団地南付近）

委員会報告

総務常任委員会

9月5日、所管事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

9月5日、所管事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

町の関係地区に、施設の協力をお願いした。

減ったのに、費用が増えているのは、費用がかさんでいる。
問..施設入所の関係が伸びて費用がかさんでいる。
問..在宅育児支援の該当者と申請者に若干の差があるが、徹底されているか。
答..それぞれ機会をとらえてPRしていく。

問..職員採用で一般職4人の応募があったが、採用ゼロとなつたのはなぜか。

答..面接の結果、期待しているようないい結果が得られなかつた。

答..タウンプライドやグランドデザインの4500万円の内容は。

答..演练場内に人が入つて人件費である。

問..介護保険の認定者が必要あるか検討する。



期待どおりの結果は？役場職員が行なった模擬採用試験

答..最初、カッブルが5組成立し、後追い調査では1組だけ確認。

問..ホームページのイベントカレンダーに何も書き込みがないが。

答..町と各種団体の調整ができず書き込めなかつた。



婚活の効果は

9月6日、所管と名称が変更となつた初めての委員会を開催した。主な質疑は次の通り。

質疑は次の通り。

問..つながる地域研究所「ナギカラ」の構成は。

答..代表は一井さんで理事2人社員2人である。

問..山の駅のコテージの利用状況は。

答..稼働率は約3割で、もう少し増やしたい。

問..畜産振興の中で臭気対策をしっかりとしたい。

答..確実に臭気を減らす対策をしていく。

問..企業版ふるさと納税を増やすと言っているが。

答..企業の社会貢献の中でも300万円を目標にする。

まちづくり文教常任委員会

視察受け

今年も夏祭りにさくら棒

－奈義町を想う議員の会－

7月以後、まだまだ視察が続いています。山の駅で昼食をしていただいたら、美術館やチャイルドホームにも足を運んでいただき、こちらも気合が入ります。

10月以降もまだ9件の視察を受けており、全国に向けて、しっかりとPRして参ります。

今年も盛大に行われた夏祭り。「想う会」も、きゅうり棒を販売しました。健康のため、味を少し薄くしましたが人気も上々。常連さんもできました。完売。ありがとうございました。



“秘伝のたれ”で爆売れ！

8月19日、奈義町役場において、奈義町・智頭町の交流会が行われました。まず、奈義町の定住促進・子育て支援の取り組みについて報告のあと、地方創生などについて意見交換を行いました。

智頭町議会と交流

8月31日、兵庫県豊岡市と、「先端的まちづくりに関する連携協定」を結びました。豊岡市で世界のアーティストが活動し文化交流を行っています。

豊岡市と連携協定

中貝市長の講演では、「豊岡がめざすのは東京ではなく、世界の豊岡であり、世界はつまらない」という価値観から脱却すると、力強いお話を伺いました。

第21回 全国小さくても輝く自治体フォーラム参加

7月22～23日、高知県馬路村で開催されました。

柚子飲料「ごっくん馬路村」、ポン酢「ゆずの村」で全国に名を馳せている村です。

記念講演は、NPO法人ローカル・グランドデザイン理事の坂本誠氏の「地方創生にどう向きあうか」と題する話でした。

講演の中では、移住定住対策のありかたについて、①補助金ありきではなく、ライフプランと一緒に考える体制づくり②地域の将来を一緒に築い

最後に、地域の共生と連帶を基本とすべき、とのアピールで締めくくり、次期開催地を鳥取県岩美町として閉会しました。

ていく仲間を募る

③「そこに住む人々が「こんな町」や「こんな村」などと卑下しているところに、若者はやつてもこないし、戻ってこない。「わが町として住民が地域を愛し、次の世代に地域をより良い形で受け継ごうと努力しているところに若者は共感を抱き吸い寄せられていく」と強調されました。

地域の特性を活かし、 粘り強く町づくりを推進



集中力アップ！オープンな教室

8月23日～25日にかけ、地方創生関連の視察を行いました。

北海道・東川町

「鉄道、国道、上水道」の3つの「道」がない町、それが東川町です。

東川町は、30年前、「写真の町宣言」を行い、町づくりを推進しています。ユニークな「写真甲子園」の開催や60軒ものカフェやレストランがあるなど、町に活気が生まれています。住宅政策にも力を入れ、人口が減少傾向から増加に転じ

し、「金山型住宅」へのリフォームや新築に助成金を支給しています。町内業者が多く請け負い、町の経済に好結果となっています。水路があり、鯉が気持ちよく泳いでいる姿勢に、一同感心しました。なお、24日の青森県八戸市の視察は、台風のため中止しました。

ました。
幼保一元化の施設「ももんがの家」や教室と教室との壁（廊下側）を取り除いた小学校などを視察・研修しました。

山形県・金山町

8月25日は、山形県金山町。この町は、景観条例



金山型住宅

勝田郡議会議員 協議会研修会

8月4日、奈義町役場において勝田郡議会議員協議会を開催しました。倉敷芸術科学大学、濱家輝雄教授より、「地方創生」「ひとりぼっちにしない！」と題しての講演を聞き、人のつながりの大切さを学びました。

7月28日、岡山プラザホテルにおいて町村議会議員研修会が開催されました。議員全員が参加し、

早稲田大学名誉教授（元三重県知事）北川正恭氏による「地方創生と地方議会、議員の役割」と題しての研修を受講しました。

岡山県町村議会 議員研修会

議長 小阪由和
委員 委員長 安藤榮一
副委員長 岡中井泰洋
副委員長 森藤政憲
立委員 桑村泰洋

【編集委員】

長雨が続いているうちに、朝夕がめっきり寒くなっています。その間、まちでは多くのイベントがあり、また、全国各地からの視察も受けて活発に動いています。内容は主に「子育て支援策や定住化施策」についてですが、その質疑応答のなかで、他の市町村もまちづくりに、一生懸命取り組んでおられる姿勢が伝わってきます。これから先の奈義町が、どんな町なら楽しく暮らせ、安心して子育てができる、老いていい環境分野で活躍できたら、すばらしい町になる予感がします。今より少し、いそがしくなりそうですが。（岡立）

編集後記